

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 20日

公表: 令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10				
	2 職員の配置数は適切である	10				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10				
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		3		・非常勤スタッフの意見が上手に取り入れられていない部分もあるので、ミーティングの仕方等改善していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10				
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			1	・ホームページで公開はしていますが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		4	3	外部評価については、今後様々な方法を検討し、さらなる業務改善に繋げていきたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			1	・月に2回、発達支援についての研修を行っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10				・保護者様の意見を踏まえた支援計画の作成を行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10				発達状況を確認するためのチェックリストを用いている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9			1	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10				
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9			1	・新しいスタッフの方が上手く意見を伝えられていないことがあるようなので、意見を出しやすい環境を整えていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10				
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	10				
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			1	・ケア前に打ち合わせを行い、ケア後にもノートをまとめ申し送りを行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			1	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10					

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	1			・連携は行っているが、新しいスタッフの方と情報を共有できるようにしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					該当するご利用者様は いらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					該当するご利用者様は いらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	1			・移行支援は行っているが、新しいスタッフの方にも情報を共有していけるように工夫していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	2		・感染症への対応、ご利用者様や保護者様の意見を踏まえ、交流の機会については検討していきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	1			・感染症対策で参加するスタッフが限られていたの で、様子を見て限定的にならないように配慮していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	9	1			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10				・説明はしっかりとしていますが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	4		保護者様の意見を踏まえ、今後そういった機会を設けていくのかを十分に検討していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	1		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		1	ケア後に話す時間は設けている。新しいスタッフも周知できるようにしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			現在該当するご利用者様はいらっしゃいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 20日

公表: 令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10				
	2 職員の配置数は適切である	10				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9		1		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		1		・ホームページで公開しているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	3		・外部評価については、今後様々な方法を検討し、業務改善に繋げていけるようにしていきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。		
適切	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10			・保護者様の意見を踏まえた支援計画の作成を行っています。	・新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10			発達状況を確認するためのチェックリストを使用し、評価している。	・新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1		普段から話し合うようにしています。	・よりスタッフ同士で提案し合える時間を設けていけるようにケアの前の時間を上手に使って取り組んでいきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		・季節や行事に合わせて活動を取り入れている。	・季節ごとのプログラムを取り入れている。新しいスタッフの方にも意見を出してもらえよう環境設定を行っていく。

主な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	1			・定期的にモニタリングはしているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	2			・ガイドラインについて新しいスタッフにも知ってもらえるように説明していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1			・連絡調整は適切に行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	1			・より連携しながら、相互にご利用者様の発達支援や療育の質の向上を目指していけるように協力していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	1		・就労先への情報提供を行っています。	・情報提供は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1		・学習会に参加している。	・研修は受けているが、一部のスタッフにならないように広く参加できるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	2		・保護者の皆様の意見を取り入れながら、必要性を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	2			・情報は共有しているが、感染症対策で参加するスタッフが限られているので、できるだけ多くのスタッフが参加できるように調整していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				・お迎え時やお帰面、支援計画の説明時などで状況や課題についてはお話をさせていただいています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2		・保護者様の対応の仕方について、ご利用者様の発達に沿って詳しいスタッフが説明できるようにしています。	・新しいスタッフの方にも、今後対応していけるような指導を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			・相談の時間を設けるなどして対応しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	3		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10				・その都度対応は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1			・連絡体制は整えているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	35	個人情報に十分注意している	10				・スタッフには取り扱いに十分注意するように指導しています。

非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	1	・近隣の方に理解してもらっていますが、新しいスタッフが十分知らない様子だったので、伝えていきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	1		・新しいスタッフに対応等を周知していけるように指導していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	1	・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるように指導していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		1	ケア後に話す時間は設けている。新しいスタッフも周知できるようにしていきます。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 20日

公表: 令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこJ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1			・スペースは適切ですが、新しいスタッフの方があまりよく理解していなかったため、説明していきます。
	2	職員の配置数は適切である	11				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2			・新しいスタッフの方が上手く入れていない様子なので、しっかりと参加してもらえるように環境改善を行います。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	1		・ホームページで公開しているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5	3		・外部評価については、今後方法を検討しながら、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1		・月に2回、発達支援についての研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1		・保護者様の意見やニーズをしっかりと取り入れた支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			発達状況を確認するためのチェックリストを作っている。	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	1			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		1	内容に応じて適宜行っている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	1		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1		・ケア前に打ち合わせを行い、ケア後にもノートをまとめ申し送りを行っている。 ・新しいスタッフの方が入っていないこともあったので注意していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			・ケースやミーティングの議事録を書いている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1		・新しいスタッフの方が入っていないこともあったので、情報共有できるように改善していきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		・ふさわしいスタッフが参画しているが、新しいスタッフの方と情報を共有できるようにしていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	2		・連携は行っているが、新しいスタッフの方と情報を共有できるようにしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1		・移行支援は行っているが、新しいスタッフの方にも情報を共有していけるようにしていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1		・移行支援は行っているが、新しいスタッフの方にも情報を共有していけるようにしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	1	・研修は受けているが、感染症対策をしながら行っているので、一部のスタッフにならないように様子を見ながら広く参加できるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	6	・感染症対策の対応、保護者様の意見を定期的にヒアリングし、交流の必要性などを検討していきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10		1	・感染症対策で一定のスタッフの参加になっているので、様々なスタッフが参加できるようにスケジュールを調整していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		1	・お迎え時など、利用時の様子を伝え、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるようにしっかりと時間を設けています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	10		1	・保護者様の対応の仕方を、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明しています	
保護	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1		

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	6		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、さらなる支援へ繋げていけるようにしていきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	3			・情報発信の方法を検討し、より良い発信をしていけるようにスタッフで話し合って行っていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	8	2	1		・近隣の方に理解してもらっていますが、新しいスタッフが十分知らない様子だったので、伝えていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	1			・保護者様にも緊急時の対応等を理解して頂けるように、掲示物や会報を用いてお知らせできるようにしたいと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1			・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、しっかりと指導していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	1			・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、しっかりと指導していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		1		・予測できない事態が起こった際に、職員間で見ているノートに事例として記入している。新しいスタッフにもしっかりと共有できるようにしていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	10	1		現在該当するご利用者様はいらっしゃいません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 20日

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこJ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10		1		
	2	職員の配置数は適切である	10		1		・人員配置は適切ですが、新しいスタッフの方にも理解してもらえるようにしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10	1			・スロープなどバリアフリーに配慮はされているが、新しいスタッフの方があまりよく理解していなかったため、説明していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2			・新しいスタッフが広く参画していけるように配慮していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1			・アンケートは行っているが、新しいスタッフの方がよくわからないようだったので、伝えていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	1		・ホームページで公開しているが、新しいスタッフの方が詳しく知らないようだったので、伝えていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	2		・外部評価については、今後方法を検討していき、さらなる業務改善に繋げていけるように検討していきます。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	1		・月に2回、発達支援についての研修を行っています。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1		・保護者様の意見やニーズを踏まえた支援計画の立案を行っています。	・新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			発達状況を確認するためのチェックリストを使用し、評価を行っている。	・新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1			・よりスタッフ同士で提案し合える時間を設けていけるようにケアの前後の時間を上手く使って取り組んでいます。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1			・様々なプログラムを取り入れている。新しいスタッフの方にも意見を出してもらえるようにしていく。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	2			・季節ごとのプログラムを取り入れている。新しいスタッフの方にも意見を出してもらえるような環境設定を行っていく。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	1		・ご利用者様の様子に応じて、個別や集団の活動を計画しています。	・計画を立てる際に、様々なスタッフの意見を取り入れていけるように工夫していく。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1		・特別な行事の際は、説明資料を作成し解るようになっている。 ・その日の役割はミーティングを行い伝えていきます。	・新しいスタッフの方の役割を明確にしていけるようにします。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11			話し合うことで、様々な気づきがあり、それを共有しながら次のケアに繋げている。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	1				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1			・定期的にモニタリングはしているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	10	1			・ガイドラインについて新しいスタッフにも知ってもらうように説明していく。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1			・ふさわしいスタッフが参画しているが、新しいスタッフの方と情報を共有できるようにしていきます。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	1			・連絡調整は適切に行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	2			・情報提供は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	1			・情報提供は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2			・研修は受けているが、感染症対策もあったので、一部のスタッフにならないように広く参加できるようにしていきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	6	1		・ご利用者様の意見を聞きながら、必要性を検討していきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	3			・感染症対策によって参加するスタッフに限られていたので、できるだけ多くのスタッフに参加できるように調整していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1			・利用時の様子を伝えながら、保護者様の意見を聞き、お互いに現状の把握ができるように話をする時間を普段から設けています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	1			・保護者さまの対応の仕方を、支援のニーズに沿って詳しく説明できるようにしています。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1				

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11			・相談の時間を設けるなど対応しています。	・必要な助言や支援を行っている。スタッフ同士で情報を共有できるようにミーティング等の時間で伝えていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	3		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを検討し、より良い支援へ繋げていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	1			・その都度対応は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3			・連絡体制は整えているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	35	個人情報に十分注意している	11				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1			・配慮は行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	7	3	1		・近隣の方に理解してもらっていますが、新しいスタッフが十分知らない様子だったので、伝えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1		より定期的に防犯訓練をしていけると良い。	普段から緊急時や防犯の意識をより高めていけるように職員間で話し合って時間を設けていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1		該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11				・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるように指導していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		1	療育の中で、ヒヤリ、リスクのある可能性があることについて、職員に伝え改善を促している。	・普段から話し合っているが、新規スタッフにもしっかりと周知させていく。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 24日

公表: 令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこS

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11				
	2 職員の配置数は適切である	11				
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1			
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11				
業務改善	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげ事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質	10	1			新しいスタッフが入っていけるように配慮していく。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11				
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	2		・外部評価については、今後様々な方法を検討、業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11			・保護者様の意見やニーズを踏まえた支援計画の作成を行っている。		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			発達状況を確認するためのチェックリストを使用し、評価している。	・アセスメントツールを用いていますが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支	11					
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11					
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			・ケア後のミーティングで今後の計画等話し合っている。		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		・職員間で普段から話し合いながら、新しい遊びの提案を行っています。		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11					
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	1				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11					
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11						
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11					
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	1				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育					・該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡					・該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図って移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1			・情報共有は行っているが、より密に連携を取り、相互理解に努めていきたい。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2			・情報共有は行っているが、より密に連携を取り、相互理解に努めていきたい。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	10	1			・研修は受けているが、感染症対策の対応もありスタッフが限られていたので、参加するスタッフが固定化しないようにしていきます。	
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	6	3		・保護者様の意見等を踏まえ、必要性等を検討していきます。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		1		・情報共有を行ってはいるが、感染症対策のためスタッフが限られてるので、できるだけ多くのスタッフが参加できるようにしていきたい。	
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11				・保護者様の対応の仕方、ニーズに沿って詳しいスタッフが対応、説明しています。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11					
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援定期的、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11					
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11				・相談の時間を設けたり、支援計画の説明などしっかりと対応させていただいております。	
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3	8		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかを検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいです。	
	36		11					
	37		5	4	1		・連絡体制は整えているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	

等	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	1	1	・近隣の方に理解してもらっていますが、新しいスタッフが十分知らない様子だったので、伝えていきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した	11			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			・普段から危険箇所については事例集を用いてよりしっかりと討議していきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上	10	1		・該当するご利用者様はいらっしゃいません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 24日

公表: 令和 6年 3月 28日

事業所名 たけっこS

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11				
	2	職員の配置数は適切である	11				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	10		1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7			・外部評価については、今後様々な手法を取り入れ、業務改善に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11			・保護者様の意見やニーズを踏まえた支援計画の作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11			発達状況を確認するためのチェックリストを使用し、評価している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			・ケア後のミーティングで今後の計画等話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		・職員間で普段から話し合いながら、遊具の購入や新しい遊びの提案を行っています。	新しいスタッフの意見も積極的に取り入れていきたい。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		・休日や長期休暇には制作活動や調理にも積極的に取り組んでいます。		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1		その日の振り返りで、気づいた点等共有している。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11					
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10	1			・ガイドラインについて新しいスタッフにも知ってもらえるように説明していく。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	1		・送迎時の対応等については相談して決めさせていただいております。	・連絡調整は適切に行っているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	/		・該当するご利用者様はいらっしゃいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	1			・情報共有は行っているが、より密に連携を取り、相互理解に努めていきたい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	2			・情報共有は行っているが、より密に連携を取り、相互理解に努めていきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	3		・保護者様の意見等を踏まえ、必要性等々を検討していきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	2	1		・情報共有を行ってはいるが、感染症対策でスタッフが限られてるので、できるだけ多くのスタッフが参加できるように工夫していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11					
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10	1		・保護者様の対応の仕方、ニーズに沿って詳しいスタッフが説明しています。	・新しいスタッフの方にも、今後対応していけるような指導を行っていきます。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11					
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11			・相談の時間を設けたり、支援計画の説明時などにしっかりと対応させていただいております。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	3		・保護者様の意見を踏まえ、今後そういった場を設けていくのかが検討し、より良い支援へ繋げていけるようにしていきたいです。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	2		・連絡体制は整えているが、新しいスタッフの方が知らないようだったので、周知していきます。	

	35	個人情報に十分注意している	11			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	2	地域の方には理解して頂けるように普段からコミュニケーションを取りながら運営しています。 ・近隣の方に理解してもらっていますが、新しいスタッフが十分知らない様子だったので、伝えていきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1		・新しいスタッフにしっかりと周知していけるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	2		・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11			・普段から危険箇所については事例集を用いてよりしっかりと討議していきたい。

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 22日

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名

たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	3		・外部評価については、今後方法を検討し、業務改善に繋げていけるように工夫して参ります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・月に2回、発達支援についての研修を行っています。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8				
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2		・新しいスタッフの意見も取り入れていけるように工夫していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2		非常勤スタッフの方で、時折は入れていない方がいるので、時間の取り方など検討していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		非常勤スタッフの方で、時折は入れていない方がいるので、時間の取り方など工夫していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		・移行支援は行っているが、新しいスタッフの方にも情報を共有していけるようにしていきます。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6		・研修は受けているが、感染症対策の対応もありスタッフが限られていたので、参加するスタッフが固定化しないようにしていきます。
28		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	6	・より交流や連携を深めながら、ご利用者様の発達支援や療育の質の向上を目指していけるように働きかけていきます。
29		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	1	・交流の必要性などを状況に応じて検討していきます。
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	4	・保護者に対する指導は行っていますが、職員が深く周知できるようにして参ります。
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1		

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	5		・今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、さらなる支援へ繋げていけるようにしていきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	3		・情報発信の仕方を検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			8		・感染症の対応もあるので、地域の方々との交流の仕方を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2			新しいスタッフにも周知していけるようにしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	1		新しいスタッフにも周知していけるようにしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 22日

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名

たけっこ稲沢

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8				
業	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1			・新しいスタッフの方の意見をしっかりと取り入れていけるようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			・新しいスタッフの方の意見をしっかりと取り入れていけるようにしていきます。

務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		1		・新しいスタッフの方に周知していけるようにしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5	2		・外部評価については、今後様々な方法や意見を取り入れながら、業務改善等に繋げていけるように検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				・月に2回、発達支援についての研修を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1			非常勤スタッフの方で、時折は入れていない方がいるので、時間の取り方など工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1			・様々なプログラムを取り入れている。新しいスタッフの方にも意見を出してもらえるように工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			・季節ごとのプログラムを取り入れている。新しいスタッフの方にも意見を出してもらえよう環境設定を行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2			・新しいスタッフの意見もしっかりと取り入れていけるように工夫していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2			非常勤スタッフの方で、時折は入れていない方がいるので、時間の取り方など工夫していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	1			・ガイドラインについて新しいスタッフにも知ってもらえるように説明していく。
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
21		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8				
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2			・より連携しながら、相互にご利用者様の発達支援や療育の質の向上を目指していけるように協力していきます。
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2			・継続的な支援のために、必要な情報は提供していきたい。
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5			・より連携を深めながら、ご利用者様の発達支援や療育の質の向上を目指してまいります。
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		2	6		・意見を踏まえながら、必要性を検討していきます。
27		(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	4			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8					

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	3		・保護者さまの対応の仕方を、支援のニーズに沿って詳しく説明できるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	6		・今後そういった場を設けていくのかを十分に検討し、より良い援へ繋げていけるようにしていきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		4	4		・情報発信の仕方を工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	6		・今後地域の方々との交流の仕方を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2			・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるように指導していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	1		・新しいスタッフにも周知していけるように指導していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				・該当するご利用者様はいらっしゃいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1			・新しいスタッフが十分理解できていない様子だったので、周知できるように指導していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				